
「救命 ICU における膀胱留置カテーテルによる医療関連機器圧迫創傷発生に関する実態調査」に関するお知らせ

このたび、当院でおしっこの管による皮膚トラブルの発生について電子カルテのデータを用いた以下の研究を実施いたします。

本研究は、【埼玉医科大学国際医療センター臨床研究 IRB】の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2022年4月1日～2024年3月31日の期間で、おしっこの管により皮膚トラブルが発生した患者さんの背景を調査します。

2. 研究の目的

おしっこの管により皮膚トラブルが発生した患者さんの背景を調査することで、今後の予防的な介入に役立てることを目的とします。

3. 研究期間

病院長の許可後～2025年3月31日

4. 利用または提供の開始予定日

研究開始許可後より1ヶ月後程度

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

おしっこの管により皮膚トラブルが発生した患者さんの年齢、性別、疾患、重症度、採血データ、皮膚トラブルの発生部位、皮膚トラブルの発生状況、入室から皮膚トラブルが発生した日数、おしっこの管のテープ固定の有無の情報を電子カルテから収集します。

この研究で得られた患者さんの情報は、【埼玉医科大学国際医療センター】において、研究責任者である東郷 雄太が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

おしっこの管により皮膚トラブルが発生した患者さんのデータを、電子カルテから情報を収集します。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

埼玉医科大学国際医療センターA棟1階 ICU 看護師 東郷 雄太（研究責任者）

4. 試料・情報の管理責任者

【埼玉医科大学国際医療センター】 病院長 佐伯 俊昭

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますのでご了承ください。

ご希望があれば、他の患者さんの個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲で、研究計画書や研究の方法に関する資料を閲覧することができますので、以下の連絡先までご連絡ください。

埼玉医科大学国際医療センター救命 ICU 看護師 東郷 雄太

住所：〒350-1298 埼玉県日高市山根 1397-1

電話：042-984-4111（土日祝日を除く 8：30～17：30）

○研究課題名：救命 ICU における膀胱留置カテーテルによる医療関連機器圧迫創傷発生に関する実態調査

○研究責任（代表）者：埼玉医科大学国際医療センター救命 ICU 看護師 東郷 雄太